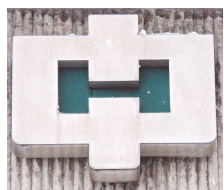


教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」



あ さ ひ こ  
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成28年 7月22日(金) No. 7

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

## 佐渡の未来を考える 進化する職場体験！

**課題解決型キャリア教育** の出前授業が21日に行われました。10月に行われる職場体験に向けて、2年生が参加しました。今回は「佐渡の課題やよさを再認識し、職場体験の視点に結びつけ、課題解決型の職場体験のための準備をする」ことを目的に、みらいずworksの小見さんと本間さんにお越しいただき、グループワークを行いました。慣れたお2人のファシリテーターのお陰で、アツという間の2時間でした。これまでも市教委、みらいずworksと連絡を取りながら進めてきており、既に体験先の8企業が決まり、参加メンバーも決定しました。

今年度、畑野中は佐渡市キャリア教育モデル校に指定され、「課題解決型職場体験」を計画しています。従来の職場体験を2歩も3歩も進めて、佐渡の企業の課題について考え、中学生の発想でその解決策（ミッション）を提案する活動です。単なる体験で終わるのではなく、企業と一緒にこれから企業を発展させたり、佐渡の活性化につなげたりしていくミッションを達成（課題を解決）していきます。ここでは唯一の正解を求めるものではなく、多くの人が納得できる納得解を広く深い視野で探っていくこととなります。

授業では、体験先のグループごとに分かれて、いろいろな考えを交流させながら深めていきました。まず、「①10年後、伸ばしたい佐渡のよいところ」「②手を打ちたい佐渡の気になるところ」について、意見を出し合いました。関連ある内容をつなげながらいろいろな意見が出されました。①②について、似た意見から発表し合い、広げていきました。進めていくうちに、どんどん積極的に発表する姿が見られ、とても頼もしくなりました。



①では、世界遺産の登録（観光客を増やしたい。佐渡のよさをアピールしたい。）、豊かな自然の保護（自然を残したい。トキを増やしたい。ゴミを減らしたい。）、美味しいお米の生産（作り続けたい。）、商業施設の拡充（お店を増やしたい。）、伝統芸能の保持（伝統文化を受け継ぎ、残していきたい。）などが挙げられました。中には、テーマパーク（ディズニーアイランド）を作りたいといった意見もありました。②では、少子高齢化の解消（少子高齢化を何とか止めたい。）、交通網の整備（鉄道整備や乗り物の利便性を増やしたい。）、学校の創設（専門学校、大学を作りたい。）、医療不足の解消（病院を増やしたい。）等が出されました。佐渡の現状を考察し、佐渡の未来像を描いていきました。

最後は「③職場体験先につながる課題と可能性」について、①②の背景を意識しながら課題を考えていきました。自分たちの住んでいる佐渡（畑野）の将来について、真剣に考えることはとても重要な意義をもちます。2年生の一人一人が考え、全員の考えを共有しながらより深め、柔軟な発想が生まれていました。これからが楽しみです。企業側も今までの単なる受け入れるだけの職場体験ではなく、中学生と関わり、企業の活性化について本気で考えてくれています。これからの活動に乞うご期待です。

# 租税教室で税の大切さを学ぶ

3年社会科の授業で、佐渡税務署の中川さんを講師にお招きし、租税教室を20日に行いました。どんな税があるのか、税金はどのように使われているのか等を、クイズ形式で分かりやすく説明してもらいました。税のない世界はどんな世界になるのかをシュミレーションしたアニメを見て、納税の必要性を感じ、税金をあまり払いたくないという生徒はゼロになりました。最後に1億円のレプリカを持たせてもらって、10kgの重さと量の多さに驚いていました。



▲1億円!?

## 離島甲子園に出場してきます

全国離島交流中学生野球大会 に畑野中から服部さん、松本さん、大澤さん、笹木さんが選抜され出場します。8月22～26日に島根県隠岐の島で行われる当大会の佐渡市中学校選抜チーム9校18名の内、一番多い4名が畑野中からでした。合同チームになりますが、佐渡が島の代表として、他校のメンバーとも協力して精一杯戦っていただきます。



## 充実した夏休みに スマホ等使用推奨ルールを生かして

いよいよ明日から夏休みです。夏休み中でも、部活動や体育祭準備、宿題などでやるべきことがたくさんあります。やるべきことを計画的に行い、自分の余暇も有効活用できるとよいです。夏休みだからといって、生活習慣を崩さないように心掛けましょう。

事故のない休みになるよう、特に、①熱中症対策、②水の事故防止、③交通事故防止 に努めてください。詳細は、「夏休みの生活(しおり)」をご覧ください。それともう1つ、④ネットトラブル対策について、注意喚起をします。

「いじめ見逃しゼロ県民運動」はご存じでしょうか。学校、家庭、地域が一緒になって子どもたちを見守り、いじめを見逃さないようにしようと取り組んでいる活動です。今年で10年目を迎え、「深めよう 絆 県民集会」を県内各地で行ってきました。この運動では急増する「ネットいじめ」や「ネットトラブル」の防止に向け、リーフレット「スマートフォン等使用推奨ルール」を小・中・高校生の保護者別に作成しました。一部を紹介します。これを参考に利用の仕方について、親子で話し合いをしてみてください。なお、このルールは「いじめ見逃しゼロ県民運動」のホームページでもご覧いただけます。

**親として、しておきたいこと・知っておきたいこと**

**1 フィルタリングは、保護者の責務です**  
新潟県青少年健全育成条例で、フィルタリングは保護者の責務と定められています。  
フィルタリングとは、有害なウェブサイト等へのアクセスを制限する機能です

【次のフィルタリングをしていますか?】  
●携帯電話回線 ●無線LAN回線(Wi-Fi等) ●アプリ ●ゲーム機本体  
※購入した販売店に確認しましょう。

**2 次のようなトラブルや問題が発生しています**

- 誰かが自分になりすまして悪口を書いたことが原因で、仲間から悪口を書かれたり、仲間はすれになったりする。それがきっかけで、不登校になる。
- SNSで、ふざけた写真や動画、裸の写真等を公開し、あっという間にインターネット上に広がった。公開した写真を完全に削除することはできない。
- ゲームサイトで知り合った人に脅され、性的被害に遭う。
- スマートフォン等がないとイライラするなど、依存の状態になる。
- 有害サイトにアクセスしたため、ウイルスに感染したり架空請求されたりする。

～スマートフォン・ゲーム機・音楽プレーヤー等～

※下の文を、子どもと一緒に読んで話し合い、スマートフォン等を使わせましょう。  
□□にチェックを入れ、約束をしましょう。

【保護者のチェック項目】  
私は、次のことを確認して、子どもにスマートフォン等を使わせませう。  
 スマートフォン等のフィルタリングを行います。  
 使用料金は、子どもが使うことをふまえて適切に設定します。

【子どものチェック項目】  
私は、次の約束を守って、スマートフォン等を使います。

- 使う時間は(朝 時から)、夜9時までとします。その後使うのは、学習と緊急の連絡だけにします。
- 友達が嫌な気持ちになるような言葉は書きません。
- 歩行中や食事中、入浴中などに、「ながらスマホ」はしません。
- 写真や動画をブログやSNSなどに載せる時は、危険性がないか、保護者と一緒によく考えます。
- ネットで知り合った人には、会いません。
- スマートフォン等を使ったいじめ、ネットによるトラブル等、困ったことが起きた時は、すぐに保護者や先生、友達などに相談します。